

JR只見線に関する現在の取組状況

○被災状況

- ・平成23年7月の新潟・福島豪雨で、4橋りょう被災(うち、3橋りょう流失)
- ・会津川口～只見間が運休中
- ・同区間はバス代行中

(平成25年度平均利用者:31人/日、被災前の同区間鉄道利用者 49人/日)

○復旧費用・工期 (JR東日本試算 平成25年5月22日公表)

- ・工事費:約85億円、工期:4年以上
(参考)工事費約85億円の内訳
- ・第5橋梁:約2億円 第6橋梁:約13億円 第7橋梁:約11億円
- ・第8橋梁:約45億円 その他設備(斜面崩壊、軌道、信号等)約15億円
- ・鉄道軌道整備法による災害復旧補助(国:1/4、地方自治体:1/4、事業者:1/2)は、経営が大幅な黒字であるJR東日本には適用できない。

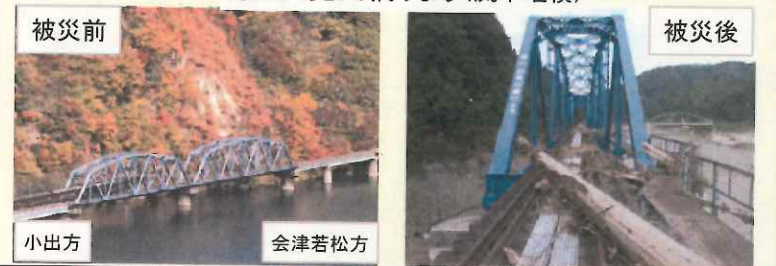
○最近の動き

- ・平成25年8月28日、佐藤福島県知事と沿線首長が太田国交大臣を訪問し、只見線の早期復旧を要望。大臣より、地元、JR、国の3者で、課題を整理し議論をする場を設けるよう提案。
- ・これを受け、3者からなる「JR只見線検討会議」を設け、実務的な議論を進めているところ
(メンバー 県:生活環境部長 JR:経営企画部長 国交省:鉄道局施設課長 東北運輸局鉄道部長 他)。
- ・これまでに8回開催 (第1回:平成25年11月25日、第2回:12月20日、第3回:平成26年 1月22日(沿線自治体の首長も参加)、第4回:5月15日、第5回:11月19日、第6回:平成27年3月13日、第7回:3月27日、第8回:4月16日)。
- ・福島県は、平成25年12月議会において、「只見線復旧復興基金」の設立を議決。復旧費の1/4相当の約21億円を、平成28年度までに積立予定
- ・赤字ローカル線の災害復旧等を支援する議員連盟(平成26年5月30日設立総会、同7月15日、8月28日、9月30日及び11月18日にも開催。同議連の規約では、事業目的に鉄道軌道整備法の改正を掲げている。)

第7只見川橋りょう(流失)



第8只見川橋りょう(流木堆積)



— : 只見線(運休区間)
 - - - : 只見線(運転中区間)
 — : 国道



第5只見川橋りょう(流失)



第6只見川橋りょう(流失)



(参考)被災前の利用状況・営業収益等
 [会津川口～只見間]
 ・平均通過人員:49人/日※1
 ・営業収益:5百万円※2
 ・営業費:335百万円※2
 ・営業損益:▲329百万円※2

※1(平成22年度) ※2(平成21年度)

JR只見線復旧復興基金

① 平成25年12月の議会において、「只見線復旧復興基金」の設立を議決。平成28年度までの計画で只見線の復旧費(約85億円)の1/4相当(約21億円)を積み立てる計画。

- ・負担割合 県:会津17市町村 = 7 (15億円) : 3 (6億円)
(沿線7市町)会津若松市、只見町、会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、会津美里町
(非沿線10市長村)喜多方市、下郷町、檜枝岐村、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、湯川村、昭和村

・積み立て状況 8億3,243万円 (平成27年3月31日現在)

② 企業や個人からの寄付の状況。

- ・個人、企業、自治体(職員を含む)等 2,238件 計 5,245万円
(平成27年3月31日現在)
(主な企業・個人の寄付)
東邦銀行 1,000万円、若松市職員団体 15万円、只見町建設業協会 10万円等

①と②の合計額 8億8,488万円 (平成27年3月31日現在)

JR只見線の利活用(平成26年度)

① 地元利用の推進

- ・町職員の利活用促進(只見町、金山町ほか)
- ・町民による只見線を利用したツアーの企画・実施(金山町)等

② 観光誘客・地域振興の推進

- ・観光小冊子の作成、フォトコンテスト等
(奥会津五町村活性化協議会、奥会津温泉郷協議会)
- ・ゆるキャラ製作、スタンプラリー等(只見線活性化対策協議会)等

「只見線応援団」の設立

○ JR只見線の状況、魅力、復旧への熱意などの情報発信を通じて、只見線の復旧復興に対する理解と支援の輪を広げ、全線復旧を推進するものとして、平成26年4月に福島県が設立。

- ・顧問:知事
- ・団長:椎名誠(作家)
- ・会員数:10,249名(平成27年3月26日現在)
(会員資格)只見線応援宣言に賛同し、以下に該当する個人
 - ・個人会員 1,863名
会費として、只見線福島復興基金へ2,000円以上寄付する個人
 - ・法人会員 145名
会費として、只見線福島復興基金へ10,000円以上寄付する法人・団体
 - ・賛同会員 8,241名

【只見線応援宣言】

- 私は、只見線応援団の一員として、JR只見線の早期全線復旧を応援するため、次のことを宣言いたします。
- 一 福島県と新潟県、さらには首都圏を結ぶ只見線が、紅葉や雪景色など美しい景観に恵まれた日本の宝であることを全国に伝えます。
 - 二 只見線を積極的に利用することを心がけ、一日も早い全線復旧を応援します。
 - 三 会員が相互に連携し、全国の皆さんにも幅広く支援を呼び掛けます。

○ 平成26年7月21日、「只見線応援団のつどい」が会津若松市会津大学にて開催。約500人出席。

JR只見線復興支援キャンペーン

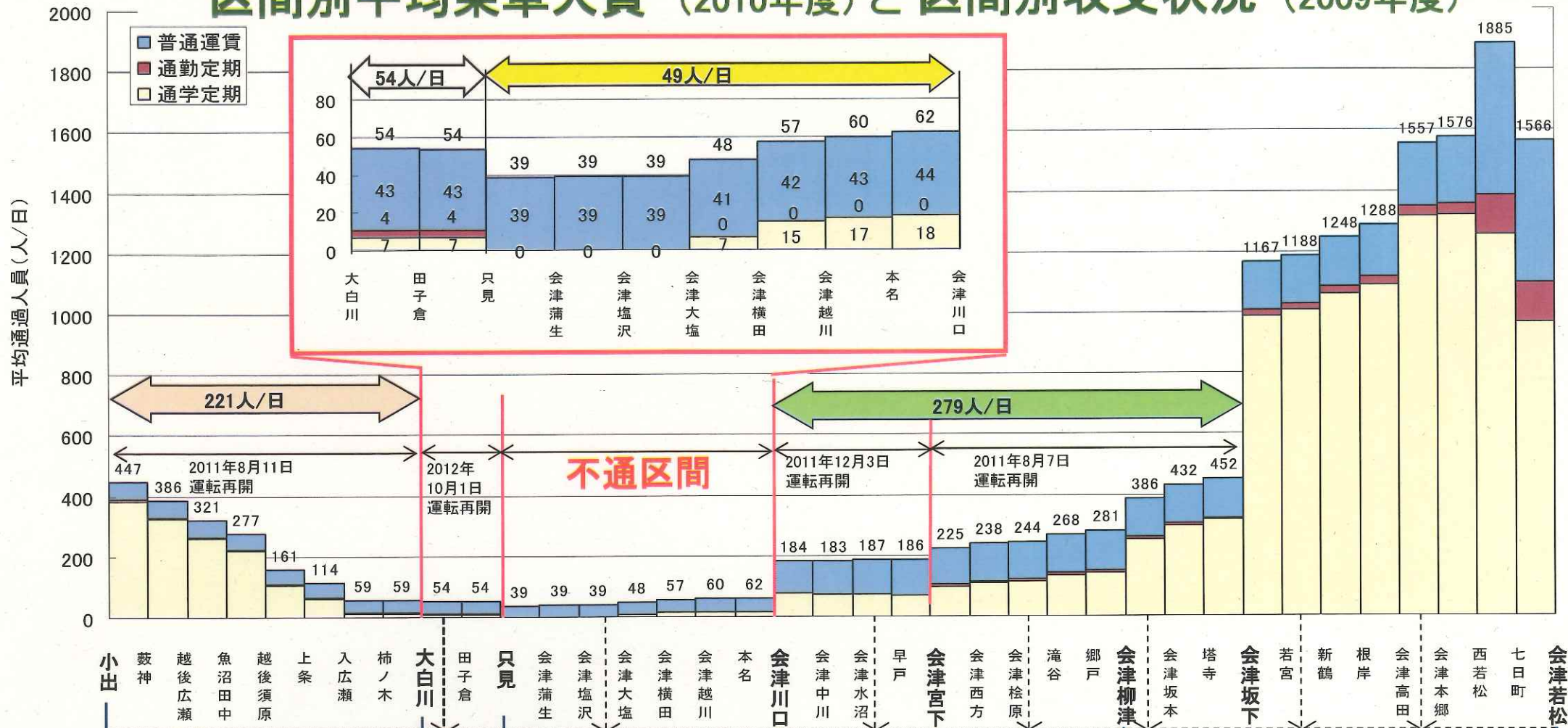
① 只見線応援フェア(平成26年12月23日)

場所:日本橋ふくしま館MIDETTE
内容:観光物産展、只見線応援団会員募集、等

② ふくしま大交流フェアでの只見線応援ブースの設置(平成27年1月12日)

場所:東京国際フォーラム
内容:只見線応援団会員募集、等

区間別平均乗車人員 (2010年度) と区間別収支状況 (2009年度)



運輸開始年月日	キロ程	営業収益	営業費	運行経費	固定資産税	原価償却費	営業損益
昭和17.11.1	(26.0 km)	18	460	395	10	55	▲442
昭和46.8.29	(20.8 km)	6	339	254	8	76	▲333
昭和38.8.20	(27.6 km)	5	335	280※	12	42	▲329
昭和31.9.20	(15.4 km)	42	671	557	22	92	▲629
昭和16.10.28	(12.1 km)	42	671	557	22	92	▲629
昭和3.11.20	(11.7 km)	42	671	557	22	92	▲629
大正15.10.15	(21.6 km)	116	455	381	13	61	▲340
合計		188	2,259	1,867	65	327	▲2,072

単位：百万円

小数点以下を切り捨てて表記しているため、合計値が合わない場合がある。

※ 運行経費 280百万円の内訳：線路保守 172、信号・電気保守 38、車両保守 25、乗務員経費 46

(出典：JR東日本資料)

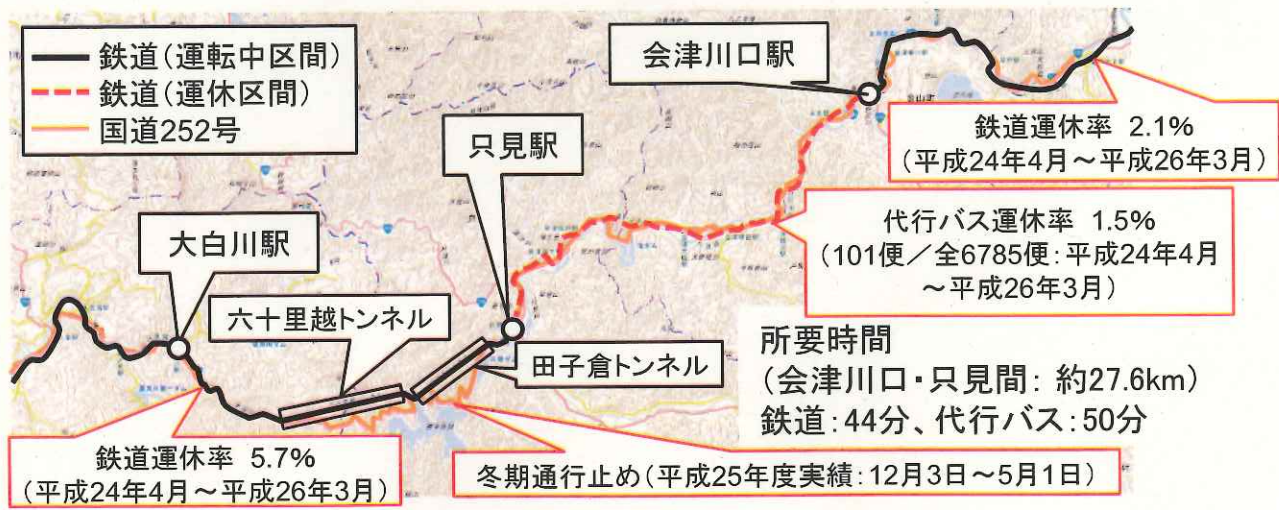
JR只見線(会津川口・只見間)の代行バスについて

代行バス(会津川口・只見間)のダイヤ

2014年3月15日改正

下り	423便	425便	2425便	427便	2427便	431便	上り	426便	2422便	428便	430便	432便	434便	2426便
会津川口	8:15	10:20	14:10	15:35	17:35	19:08	会津川口	8:00	10:10	12:15	15:22	16:50	18:35	19:30
川口高校前	8:16	10:21	14:11	15:36	17:36	19:09	川口高校前	7:59	10:09	12:14	15:21	16:49	18:34	19:29
本名	8:20	10:25	14:15	15:40	17:40	19:13	本名	7:55	10:05	12:10	15:17	16:45	18:30	19:25
湯倉入口	8:23	10:28	14:18	15:43	17:43	19:16	湯倉入口	7:51	10:01	12:06	15:13	16:41	18:26	19:21
会津越川	8:29	10:34	14:24	15:49	17:49	19:22	会津越川	7:46	9:56	12:01	15:08	16:36	18:21	19:16
会津横田	8:34	10:39	14:29	15:54	17:54	19:27	会津横田	7:41	9:51	11:56	15:03	16:31	18:16	19:11
会津大塩	8:38	10:43	14:33	15:58	17:58	19:31	会津大塩	7:37	9:47	11:52	14:59	16:27	18:12	19:07
会津塩沢	8:50	10:55	14:45	16:10	18:10	19:43	会津塩沢	7:25	9:35	11:40	14:47	16:15	18:00	18:55
会津蒲生	8:57	11:02	14:52	16:17	18:17	19:50	会津蒲生	7:18	9:28	11:33	14:40	16:08	17:53	18:48
叶津	9:01	11:06	14:56	16:21	18:21	19:54	叶津	7:14	9:24	11:29	14:36	16:04	17:49	18:44
只見	9:05	11:10	15:00	16:25	18:25	19:58	只見	7:10	9:20	11:25	14:32	16:00	17:45	18:40

- : 2011年 7月～
- : 2012年10月増便
- : 2014年 3月増便
- : 2012年12月
停留所増設(3箇所)



代行バス

